

海中地下洞窟ウンブキ

水中にある石灰岩の洞窟ウンブキの謎は徐々に解き明かされつつありますが、最大の謎はまだ未解決のままです。ウンブキの入り口は、海岸から約 400 メートル離れた内陸にありますが、洞窟内部の海水には干満があり、このことは海底の下に別の開口部があることを示しています。しかし、専門の潜wasshiによる継続的な調査にもかかわらず、この開口部はまだ発見されていません。石灰岩の岩盤の崩壊によって形成されたウンブキは、メキシコの有名なセノーテという地下水源と地表をつなぐ陥没穴を連想させます。実は、ウンブキはアンキアラインプールという地下洞窟によって海とつながっている内陸水域です。

別世界

地上高度から数メートル下にある洞窟入口付近の広いエリアは、スイッチを入れると照明が点灯します。2014 年、佐世保工業高等専門学校がウンブキで遠隔操作型ロボットとソナー技術を使って洞窟をモデル化する実験を行い、その結果を学術論文にまとめて発表しました。

古代の発見

2018 年 9 月、有名な日本人探検家である広部俊明氏が率いる専門の潜wasshiのチームが、300 メートルまでの現地探査を開始しました。この最初の探査により、ウンブキは日本最長の水中洞窟であることが確認され、また、新石器時代のものと推定される土器が発見されました。

珍しい生物

続く水中探査では、新種のエビとみられる生物が発見され、また、日本初のウンブキアナゴの撮影に成功しました。体長 50 センチメートルまで成長する、Fryer's false moray としても知られるこのアナゴは、世界でもごく少数の場所にしか生息しておらず、日本では 2014 年に初めてウンブキで確認されました。探査チームは、この稀有な場所にはもっと未確認の生物がいる可能性があり、その中には地球上でここにしか生息しない種も含まれるかもしれないと考えています。

いまだ続く困惑

最初の探査を後継した潜wasshiたちは、その後、曲がりくねった洞窟を通り抜け、入り口から 700 メートルの地点まで到達しました。この地点までのかなりの部分が海底下を通っているはずですが、それでも外海へつながる箇所は見つかりませんでした。

行き方

ウンブキは島の北西海岸にあり、空港から車で数分、徒歩 10 分以内で行くことができます。数台分の無料駐車場があります。駐車場から直接階段で行けるウンブキ現地への入場は無料です。入り口と周辺を自由に探索できますが、洞窟でのダイビングは禁止されています。ウンブキを訪れる人は、入り口とその周辺は自由に見てまわれますが、洞窟でのダイビングは禁止されているので注意してください。